

第99回 火力専門委員会 構造分科会 議事録

- I. 日 時：2018年1月23日（火）13時30分～17時40分
II. 場 所：日本機械学会 第3・4会議室
III. 出席者：飯田（東電FP）、西野（配管技術研究協会）、西田（MHPS 長崎）、関根（IHI）、
太原（東芝）、芝（関西電力）、松浦（中部電力）
代理者：なし
オブサーバー：なし
欠席者：豊嶋（MHPS 呉）、黒川（KHI）、野呂（富士電機）、田村（MHPS 日立）、
事務局：原

IV. 配布資料

- 99-1 第98回構造分科会議事録（案）
- 99-2 構造分科会委員名簿
- 99-3 第82回火力専門委員会議事録（案）
- 99-4 第84回規格委員会議事録（案）
- 99-5 発電用火力設備規格 2017年追補 JESC 技術会議審議結果報告
- 99-6 火力専門委員会書面投票 No.73（詳細規定 201X 年版第Ⅱ章）結果報告
- 99-7 欠番 …配布資料なし、映写のみ
- 99-8-1～ レビュー票 … 配布資料なし
- 99-9-1～ レビュー票（ダブルチェック結果反映） … 配布資料なし
- 99-10-1 新旧対比表（Ⅲ章 PW MHPS 長崎）
- 99-10-2 新旧対比表（Ⅲ章 PW, 補遺 東電FP）
- 99-10-3 新旧対比表（Ⅴ章 136～ 関電）
- 99-10-4 新旧対比表（Ⅴ章 128～ MHPS 長崎）
- 99-10-5 新旧対比表（Ⅲ章 PG58～ 富士電機）
- 99-11 審議履歴表

V. 議題

1. 前回議事録確認 [資料 99-1]
前回議事録（案）の確認を行ない、議事録案は承認された。
2. 分科会委員・役員の承認 [資料 99-2]
退任委員、新任委員候補、再任委員候補は無し。
3. 報告事項 [資料 99-3]
 - (1)火力専門委員会報告
11月29日開催の第82回火力専門委員会の主要項目が報告された。
 - 火力専門委員会委員、各分科会委員の承認。
 - 第98回(11/8)構造分科会報告
 - ・2017年追補、事例規格の公衆審査結果の報告、今後の予定の説明。

- 発電用火力設備規格 201X 年版 Ⅲ章、Ⅴ章の新旧対比表の確認。
- 審議結果報告
 - 発電用火力設備規格 201X 年版 詳細規定 Ⅱ章材料の改訂提案と火力専門委員会書面投票実施の承認

(2) 規格委員会報告 [資料 99-4]

- 12 月 6 日開催の第 84 回発電用設備規格委員会の関係する項目が報告された。
- 規格委員会委員長、火力専門委員会委員長、原子力専門委員会委員長の各書面投票による選任結果の報告。
 - 火力専門委員会(11 /29 開催) 報告。

(3) 火力専門委員会書面投票 No.73 結果報告 [資料 99-5]

発電用火力設備規格 201X 年版 詳細規定 Ⅱ章材料の改訂案の火力専門委員会書面投票の結果が報告された。賛成票が 2 / 3 以上あったが、反対票があったため可決とならなかった。

(4) 発電用火力設備規格(2017 追補、事例規格)の JECS 技術会議結果報告 [資料 98-6]

1 月 16 日(火)に開催された JECS 技術会議における、発電用火力設備規格(2017 追補、事例規格)の審議結果が報告された。

- 規格の変更が必要になるような意見は無かった。
- 主な意見・質問は、以下のとおり。
 - 既設置設備の高クロム鋼については、寿命評価式を用いて評価することを、追加で説明した方が良い。
 - 規格の火技解釈への取り入れにあたっては、高クロム鋼の許容応力が火技解釈と JSME で、同じ値になっていることが望ましいのではないか。

4. 審議事項

(1) 用語集の確認 [映写のみ]

3 分科会共通の用語集について、新たな追記・変更箇所の確認を行った。今回の追記・変更箇所が適切であることが確認された。

(2) レビュー票ダブルチェック反映審議 [資料 99-11]

メールベースで進めているレビュー票のダブルチェックの結果反映の進捗状況を、審議履歴表により確認した。

(3) 新旧対比表の確認(Ⅲ章) [資料 99-10-1]

1) Ⅲ章 PW31～(MHPS 長崎)

西田委員が改訂箇所を説明し、審議を行った。

- PW-33
 - 改訂内容の「説明の追記」を削除する。
- PW-34.1

- ・改訂前のPW-35 項の「項」を削除する。
- PW-35.3
 - ・改訂前の放射線透過試験に下線を引く。
- PW-36.2
 - ・耐圧部境界 → 耐圧部境界内
 - *委員会後、西野委員から用語の候補として「圧力バウンダリー」についても審議した方が良いとのコメントがあり、次回審議の予定。

2) Ⅲ章 Fig PW-9～、TablePW-11、補遺（東電 FP） [資料 99-10-2]

飯田委員が改訂箇所を説明し、審議を行った。

- 図 PW-16.1
 - ・改訂内容の「表現の統一」を「表現の見直し」に変更する。
- 表 PW-11
 - ・改訂内容に「表現の見直し」を追加する。
- 表 PW-11 注(2)
 - ・より分かりやすい表現を検討する。
- 補遺 6. 各項（PART）毎の補遺 PG-16.2.2
 - ・「PG-21.4」の後に「項」を追記する。
 - ・この改訂案を規格本文にも反映させる。
- 補遺 6. PG-25
 - ・脱字修正「れぞれ」→「それぞれ」

3) V章 136,137（関西電力） [資料 99-10-3]

芝委員が改訂箇所を説明し、審議を行った。

- 136.4.5
 - ・「T-274」の後に「項」を追記する。
- 137.2.1
 - ・「継手は試験の間中、試験のため」とカンマを付ける。
- 137.4.5
 - ・「起こり得る」は、「パッキン部の」の後ろに移動する。
- 137.5.2
 - ・予防措置が守られるということを → 予防措置がとられることを
- 137.5.4
 - ・「もし行う場合は、予備の気圧試験 137.5.2 項および 137.5.3 項に従い行うこと。」
原文を確認する。
- 137.5.5、137.7.2
 - ・あり得る → 起こり得る（2箇所）
- 137.8.3
 - ・ASME S I 値を採用する。
 - 9. 52mm → 10. 0mm 12. 7mm → 12. 0mm

4) V章 129～ (MHPS 長崎)

[資料 98-9-4]

西田委員が改訂箇所を説明し、審議を行った。

○129 曲げと成形、130 配管支持部材の製作と取付条件など

- ・同じ項目タイトルが何回も記載されているが、2回目以降のものは記載しない。

○129.1

- ・改訂前の「製造者」の「造」に下線を引く。

○129.3.2

- ・改訂内容に「表現の見直し」を追加する。

○表 129.3.1

- ・改訂内容に「ASME 改訂の反映」を追加する。

○129.3.4

- ・改訂内容に「ASME 改訂の反映」を追加する。

○130.3

- ・改訂前の「アンカー」に下線を引く。

○131.4.1

- ・改訂内容に「表現の見直し」を追加する。

○131.6.1

- ・改訂内容に「ASME 改訂の反映」を追加する。

○132.2

- ・改訂内容に「誤記修正」を追加する。

○132.2 (A)

- ・原文を確認し、より適切な表現を検討する。

※ V章 APPENDIX (MHPS 長崎)、Ⅲ章 PG58～、PG75～(富士電機)の審議は次回。

■今後の進め方

- Ⅲ章、V章の優先順位により、5月後半に開催予定の火力専門委員会で改訂提案すること为目标に、準備を進める。

- ダブルチェック結果の反映は、引続きメールベースで連絡を取りながら作業を進める。
ダブルチェック結果反映が完了した箇所は、順次新旧対比表を作成する。

5. 次回開催予定

開催日：4月23日(月)、24日(火)の候補日の中から、本日欠席委員のご都合を確認して、開催日を選定する。 → 4月24日(火)に決定。

時 間：13時30分～17時。

場 所：日本機械学会 会議室

以 上